

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1290200292 | | |
| 法人名 | 株式会社ヘルシーサービス | | |
| 事業所名 | グループホーム ガーデンコート幕張(2階) | | |
| 所在地 | 千葉県千葉市花見川区幕張町1-5027 | | |
| 自己評価作成日 | 令和6年1月14日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社アミュレット | | |
| 所在地 | 東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube | | |
| 訪問調査日 | 令和6年2月27日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年に館内のリフォームを終え視覚的にも明るい雰囲気になりました。私共はお客様が、笑顔で安心して過ごして頂けるよう一人一人の気持ちを大切にしながら、家庭的な環境での暮らしの中で生きがいを持ち主体的に生活できるよう「心」を大切に支援しています。「よく食べ、よく食べ、よく出し、よく活動し、よく寝る」の基本的な介護を理念に掲げ、日々の業務に取り組んでいます。また、ICT機器導入に伴い、電子記録化やオンデマンドの研修といったスキルアップといった部分にも取り組んでいます。昨今、地震や気候変動の変化により、「いざという時の備え」も身につけなければなりません。平時から自身の事という意識が浸透しつつあります。今年度は①お楽しみ委員会、②環境・BCP委員会、③虐待防止・身体拘束排除委員会と3つの委員会を創設し活発な意見交換が行えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

今年度は「環境・BCP」、「お楽しみ」、「虐待・身体拘束廃止」の3つの委員会を創設し、ケアの質の向上に向けて前向きに取り組んでいます。各委員会活動が機能していることで、「自然災害及び感染症に関するハンドブック」を作成し全職員に配布したほか、虐待の芽チェックリストによる言動や行動の振り返りなども実施するなど、ケアの質を高めていくための取り組みが充実しています。また、ホーム内の改修工事も終了し、リビングや浴室、トイレなどの共用部も使いやすくなり、安全面の強化も図られました。ホーム内での安全性及び生活しやすい環境が整い、利用者、家族、職員の安心感も高まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|--|--|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | よく食べ、よく出し、よく活動し、よく寝るの基本的な事を継続的に実施し、お客様の生きがいや励みとなる支援を行っています。 | 「よく食べ、よく出し、よく活動し、よく寝る」ことをホームの大切な考えに置き、楽しみのある生活が日々提供できるように職員が一丸となっています。ホームの大切な考えや会社の社是、サービス理念については各委員会活動の中で確認や振り返りを行っています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 新型コロナウイルスの感染状況に合わせて来訪を一時的に中止したり、逆にボランティアの来訪を依頼し適宜感染状況に合わせた対応を行っています。 | 地域との交流については今後計画的に進めていく予定としています。現在地域包括支援センターから情報を得て、地域の古民家カフェを利用者たいと考えています。地域住民とはトラブルもなく良好な関係を築き運営を進めています。 | 今後に向けては少しずつ地域とのかかわりも再開していく予定としているため、地域資源などを効果的に活用して利用者の生活の幅が広がることを期待します。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 勤続年数が長い従業員比較的多いホームですが地域の人々への貢献は未だ少ないと感じています。介護相談や入居施設のお探しの際(見学など)より良い提案を行っています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 全員が対面では難しいですが、3ヶ月に1度実施しています。 | 会議には地域包括支援センター、事業所1階の就労継続支援B型事業所の職員の参加を受けて3ヶ月に一度実施しています。会議では事業所からの活動報告のほか、地域情報などを収集することもでき、収集した情報を支援や運営に生かしていけるように努めています。 | 今後は運営推進会議へ地域の方の参加者なども増やしてより充実した会議になることを期待します。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市区の担当者など、分からないことなどは随時連絡を取り助言を受けています。また、区の生活保護担当や包括支援センターとは、受け入れや利用者の生活支援の為に適宜連絡を取っています。 | 運営上、相談が必要なケースが生じた際には市の担当課へ連絡を入れて必要な指示を仰いでいます。また、生活保護受給者の件で相談が必要なケースでは区の担当課へ連絡を入れて必要な指示を仰いでいます。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 入社時の研修や既存従業員には年2回の研修を行い、身体拘束の無いケアを行っています。また身体拘束廃止適正委員会においても同様に身体拘束廃止に向けた取り組みを行っています。また3ヶ月に1度WEBアンケートを実施して課題や問題把握に努めています。 | 身体拘束の無いケアの実践に向けて3ヶ月に一度管理者、ケアマネジャー、介護職員間において身体拘束廃止委員会を開き、不適切ケアの発生が無いかを定期的に確認しています。また、虐待防止委員会も兼ねており委員会が中心となり職員向けの研修も実施しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 自身の体験や他者の言葉使い・態度など、気づいた点を申し送り等で管理者に報告、相談し、改善点を見つけるなど「敬意と尊敬」の念を忘れないよう、研修も実施しています。また3ヶ月に1度WEBアンケートを実施して課題や問題把握に努めています。 | | |

グループホームガーデンコート幕張(2階)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 管理者、計画作成担当者は必要な知識を持っています。また、現在ご入居中のお客様も後見人様が付いて方もいますので関係維持に努めています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時まで、ご本人様、ご家族様のホーム見学も含め、グループホームの説明や不安などのご相談に応じています。メール等も活用しつつ分かりやすい説明に努めています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 重要事項説明書に内外の苦情窓口先を記載しています。また面会等でも苦情等の把握に努め、良い関係が維持できるように努めています。 | 家族からの意向や要望については面会時やケアプランの説明の際に確認し、要望等が出た場合には迅速に対応しています。利用者からの要望等は日常会話から収集し、日々の生活の中で反映できるように努めています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 運営に関するヒアリングを管理者また上長が聞く体制を取っています。正社員については常勤会議を設け、日々の業務の相談や提案等一方通行にならないように配慮し運営に活かしています。 | 現場職員の意見や要望等についてはケアマネジャーが中心となり確認し所長へ報告しています。日常会話を中心とした聞き取りのほか、各委員会の中でも日ごろの支援で感じたことや気になることなどを確認して日々の支援に生かしてけるようにしています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 運営に関するヒアリングを管理者また上長が聞く体制を取っています。社内においては、社内相談室を設置しています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 入社時は社内発行の冊子を用いて会社案内、ホームの決め事やルール、マナーの部分を中心にオリエンテーションを行っています。またスマホやタブレット等の機器でいつでもどこでも研修を受けられるような体制を取っておりスキルアップの向上に活かしています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 現状は新規受け入れ時や退去時等に居宅介護支援事業のケアマネや医療関係者、特養施設等への相談や情報収集、情報伝達を行っています。 | | |

グループホームガーデンコート幕張(2階)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前のホームの見学にてご本人様の要望に耳を傾け、入居後は本人の生活歴の把握のもと、声掛け・傾聴などコミュニケーションを図り、目配り・気配りにて本人を観察し理解を深めるよう努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 最近ではメール等でも事前に相談事をお聞きし、対面でも時間を作り、話しやすい雰囲気作りに努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人様やご家族様のニーズを聴取、把握しホームにての支援出来る内容の説明や改善を考慮しながらスタッフがカンファレンスをして最善のサービスを見極めるように努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 残存機能を生かし、家事の分担や行事(季節のイベント・誕生日会など)と一緒に準備から参加して頂いている。特にイベント準備の際は、お客様の出来る事を探し、一緒に作業を進め、全体でイベントへの意欲を高めるようにしています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 毎月「ガーデンコート幕張通信」を発行して、日常生活や状況を職員のコメントにて様子をお知らせしています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家具や写真を居室に持ってきてもらう等、馴染みの物を多く取り入れるよう家族に協力して頂いている。コロナ禍の為、外出に制限はあるものの、面会は比較的オープンにしており、人によってはオンライン面会も行い関係維持に努めています。 | 馴染みの人や場所との関係性が継続できるように、友人の来訪なども受け入れています。新型コロナウイルス5類移行後は家族との外出も許容し、自宅へ戻られる方なども少しずつ増えています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 皆さんの顔が見えるリビングでの生活時間を増やし、座席は相性などを考慮して誘導しています。 | | |

グループホームガーデンコート幕張(2階)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後の相談などは現状ありません。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご本人様の言動を観察し、コミュニケーションを図り意思や希望、入居前の生活状況を考慮して、それぞれにあった個別支援も反映できるようアセスメントを実施しケアプランを作成し、安心して生活が出来るよう検討しています。 | 利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映できるように努めています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の面談等で生活歴や生活環境の聴取、把握に努め、入居後はコミュニケーションの中から情報を得て必要に応じてご家族様に確認し把握に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | スタッフ間で情報の共有をし、ご本人様の有する機能を活かし、無理のない範囲で支援しています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアマネージャー・計画作成担当者・看護師の意見をまとめ、プランの見直しを行っています。ご家族様に対して、プランの見直しや対応経過を分かりやすく説明し同意を得て現状に即した計画書の作成、または意見を反映させています。 | アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎ケアプランを更新しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 紙媒体からタブレットへの電子記録の移行も進み、必要に応じ申し送り機能を使い情報の共有に努めています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | コロナ禍では行えることは減少しつつもご本人様のご要望に応じた支援をし、飽きのこないような支援を適宜行っています。 | | |

グループホームガーデンコート幕張(2階)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 現状は地域資源を活用した支援は出来ていませんが、運営推進会議において地域包括支援センターの方から有益な情報も頂けていますので、実践していきたいと考えています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力医療機関の往診と24時間のオンコール体制にて、本人の体調の変化に対応し、他の受診などについてもご家族の希望に沿うよう協力を努めています。 | 提携先のクリニックとは、定期的な訪問診療を通じて連携を図っています。主治医とも密接に連携を図りながら24時間連絡がとれる体制を築き、夜間等における緊急時にも迅速な対応を可能とし必要な医療を受けられる体制としています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 24時間看護師とは連絡が取れる体制を構築しています。緊急時等で指示を受けたり、状態変化に伴う相談を適宜行っています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先やご家族様と情報交換を行い、スムーズに退院できるよう関係構築に努めています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に「重度化対応・終末期ケア対応の指針」を提示して、医療行為が日常的に必要な場合について家族と事前に説明しています。状態低下に伴う場合はご家族様へ現状説明をして、連携医療機関の意思も交えた今後の状況を相談説明出来る場を作りにしています。 | 重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に説明しています。現状看取り支援は行っていませんが、重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 事故発生時の対応の研修を行っています。また判断に迷う場合もあることから緊急時の持出表等事前準備も行っています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 備蓄準備もしており、夜間を想定した避難訓練を実施しました。課題などもあることから改めて全職員がスキルを身に付け、いざという時の備えも行っていきます。 | 避難訓練を計画的に実施し、火災や地震のほか高潮発生時を想定した訓練も取り入れています。作成が義務付けられた事業継続計画(BCP)も策定しているほか全職員用に「自然災害及び感染症に関するハンドブック」を配布して対策を共有できるようにしています。 | |

グループホームガーデンコート幕張(2階)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 全てが同性介助とはいきませんが、プライバシーに配慮しつつ丁寧な声かけや対応を心がけています。 | 年間の研修計画に接遇マナーやコンプライアンス研修を取り入れて職員の意識を高めています。日ごろから職員間で注意し合う環境を築くほか、定期的に「虐待の芽チェックリスト」を使用して言動や行動を振り返る機会も設けています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人様の意思決定のため、声かけを行い、無理強いすることが無いよう配慮し自己決定できるように工夫しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホームの生活は極力自由に過ごして頂けるように、ご自身のペースや介入をしご希望やご要望に合わせた支援を行っています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 起床時の整容介助等身だしなみは特に留意しています。衣類等もご家族様にお願いし季節のものを新調して頂いたり協力を得ています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の盛り付けや配膳を分担したり、季節にあった行事食やおやつ作りを一緒に行っています。誕生日会等リクエスト食もあり、今後頻度を増やして食事の楽しみを増やしていきたいと考えています。 | 食事の準備や後片付けの場面では利用者にも声をかけ、職員と一緒に準備や後片付けを進めていけるように取り組んでいます。食事の楽しみに向けては、利用者の誕生日当日や月に一度はリクエストメニューとして食べたいものを提供して楽しみにつなげています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量・水分量は記録観察を行い、また嚥下能力に応じた工夫もしています。概ね食事量が低下する事もなく摂取量確保が出来ています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 訪問歯科の指導も受けながら、毎食後口腔内の清潔保持に努めています。食後の口腔ケアを促し、介助、介入を行っています。 | | |

グループホームガーデンコート幕張(2階)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | タブレット記録と紙での記録の双方を行い排泄パターン、排便コントロールを行っています。また、パット等の選択もスタッフ間で協議し、ご本人様の苦痛にならないよう注意しています。 | 排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることができ、排泄の失敗などを防ぐことができます。排泄状況はタブレット端末から専用の介護ソフトへ入力しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 飲料は乳製品を積極的に取り入れています。また日々の体操で身体を動かし便秘防止に努めています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | ある程度回数や時間はパターン化されており拒否なども特にみられない事からスムーズに支援できています。また入浴以外にも足浴を行い清潔保持に努めています。 | 入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。入浴中はマンツーマンでの対応のため利用者とのコミュニケーションを深める時間につなげています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活リズムの中で休息を取っています。夜間の巡視時に室温調整をしたりして安眠できるよう支援しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬に関してはドクター、薬剤師に指導を受けています。服薬管理は職員が行い、服薬の変更等は必ず往診事項報告書で確認しています。また、日々の変化などを記録して提携医療機関へ情報提供に努めています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個人の能力に合わせた家事分担で支援しています。また、カラオケ、体操や歌などのレクリエーションの参加を促したり、散歩・趣味など気分転換の支援に努めています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | コロナ禍の時期を除き体調や天候の良い日にホーム周辺の散歩をしています。 | 新型コロナウイルス5類移行を受けて外出なども少しずつ再開しています。天候の良い日にはホーム周辺の散歩にお連れしたり、家族との外出も許容して馴染みの場所に外出できるように配慮しています。次年度以降は外出行事なども再開したいと考えています。 | |

グループホームガーデンコート幕張(2階)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族様の了承のもとホームでの管理していません。コロナ禍ということもあり買い物支援は行えず、ご要望に応じて買物の代行を行っています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 面会の制限中はオンラインでの面会をされている方もおります。コロナの制限や制約が無い時期は面会も居室内で可能としています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 昨年、建物の大幅なリフォームも実施しており、レイアウトが一部変わったことで混乱した部分もありましたが、お客様やご家族様からも好評でした。今後も居心地の良い環境整備に努めます。 | 日々掃除の徹底や感染対策として手すりや床、リビングのテーブルなどもこまめに消毒しています。感染対策として換気も定期的を実施しています。ホーム内の改修工事も終了し、リビングや浴室、トイレなどの共用部も使いやすくなり、安全面の強化も図られています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気が合う方が近くに座る等、楽しく生活出来るように、テーブル席を配置して配慮しています。また、リビング以外に椅子を設けたり、居室で過ごしたい場合は過ごして頂いています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅にて本人が使用されていたタンスなどもお持ち頂いています。危険物以外は持ち物に制限はなく、使い慣れたものをご持参頂いたり、新調されたりと様々です。 | 居室の掃除も定期的に行い清潔保持に努めるほか、居室内のレイアウトについても利用者、家族の意向を大切にしています。馴染み品の持ち込みを可能として居心地よく過ごせるように配慮しています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | リフォーム後に段差の解消であったり細かな部分で住みやすいようなレイアウトに変更しています。 | | |